

IV レッドリストの解説

1 レッドリストの概要

本書の掲載種数は表3に示すとおり842種で、前版の787種からみて大幅に増加したのになっている。これは、県内で絶滅を危惧すべき動物種が著しく増加したと考えるよりも、むしろ2012年に環境省から公表された第4次レッドリストで特に昆虫の種数が第3次リストの564種から868種に増加した影響が大きい。中でもコウチュウ目において第4次リストに新たに掲載された種には埼玉県内に生息する種も多く含まれ、それらの生息状況を調査した結果、前版の128種から171種と大幅な種数の増加となった。

哺乳類と魚類・円口類については、特に前版からの掲載種数の減少が顕著だが、これはそれぞれの分類群の概説にもあるとおり、新たな調査手法による新しい知見の集積や過去の記録の再検討によるところが大きく、これらの分類群の動物たちの生息状況が大きく好転した結果とは判断できない。

全体としては、新たにレッドリストに掲載された種が119種、前版のリストから外れた種が64種あったが、この64種については別項でその理由を述べた。

なお、表3では、分類群ごとに在来種数に対するレッドリスト種の割合(%)をあげているが、前版では外来種も含めた種数を分母として計算しているため、この数値を前版と比較する際には注意が必要である(爬虫類・両生類については、前版でも在来種を分母とした数値となっている)。

【凡例】 評価区分と指定状況

EX : Extinct 絶滅	EW : Extinct in the Wild 野生絶滅
CR+EN : 絶滅危惧 I 類	CR : Critically Endangered 絶滅危惧 I A 類
EN : Endangered 絶滅危惧 I B 類	VU : Vulnerable 絶滅危惧 II 類
NT : Near Threatened 準絶滅危惧	NT1 準絶滅危惧 1 型 NT2 準絶滅危惧 2 型
DD : Data Deficient 情報不足	
LP : Threatened Local Population 絶滅の恐れがある地域個体群	
RT : Regionally Threatened 地帯別危惧 (このカテゴリーは、地帯別評価では採用しない)	

アンダーラインの評価は、埼玉県独自の評価区分を示す。詳細は p.29 を参照。

特天 : 国指定特別天然記念物 国天 : 国指定天然記念物 県天 : 県指定天然記念物

国希 : 国内希少野生動物種 (絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律)

県希 : 県内希少野生動物種 (埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例)

【レッドランク、ランクについて】 本書では、EX や NT1 などレッドリストのカテゴリーを指す場合、文中では「レッドランク」、あるいは「レッドリストのランク」などと表現する場合もある。

表3 埼玉県レッドリスト 2018 動物編 掲載種数

本書で扱われている分類群。円口類は便宜的に脊椎動物に含めている。		A 埼玉県 RDB 動物編 2008 レッドリスト種	B 埼玉県 RDB 動物編 2018 レッドリスト種	C 埼玉県産 動物種数 2016 年 11 月 1 日現在	D C から外来種 や迷入種など を除いた在来 種の種数	B / D 在来種数に対 するレッドリ スト種の割合	備 考
脊椎動物	哺乳類	39	23	57	51	42%	
	鳥類	104	115	380	181	64%	
	爬虫類	12	12	16	14	86%	
	両生類	14	15	18	16	94%	
	魚類・円口類	34	14	93	52	27%	
脊椎動物 計		203 種	179 種	564 種	—	—	
無脊椎動物	ハチ目	62	63	1,151	1,143	6%	
	チョウ目チョウ類	58	63	139	129	49%	
	チョウ目ガ類	23	24	2,449	2,427	1%	
	トビケラ目	5	5	96	96	5%	
	ハエ目	49	52	1,921	1,911	3%	
	ノミ目	—	—	32			埼玉県昆虫誌
	シリアゲムシ目	8	13	21	21	62%	
	ネジレバネ目	—	—	13			埼玉県昆虫誌
	コウチュウ目	128	171	3,562	3,488	5%	
	ヘビトンボ目	3	3	4	4	75%	
	ラクダムシ目	2	2	2	2	100%	
	アミメカゲロウ目	6	9	73	73	12%	
	カメムシ目	45	50	1,057			詳細は p.264
	アザミウマ目	—	—	13			埼玉県昆虫誌
	咀嚼目	—	—	1			埼玉県昆虫誌
	顎目	—	—	10			埼玉県昆虫誌
	目	—	—	3			埼玉県昆虫誌
	ナナフシ目	3	5	6	6	83%	
	バッタ目	31	45	129	126	36%	
	シロアリモドキ目	—	—	—			
	カワゲラ目	6	6	54	54	11%	
	カマキリ目	1	1	6	5	20%	
	ゴキブリ目	—	—	5			埼玉県昆虫誌
	シロアリ目 (ゴキブリ目シロアリ科)	—	—	1			
	ハサミムシ目	4	4	15	14	29%	
	ガロアムシ目	1	1	4	4	25%	
	トンボ目	39	40	93	88	45%	
カゲロウ目	4	3	75 ※ 1	75	4%		
シミ目	—	—	1			埼玉県昆虫誌	
イシノミ目	—	—	1			埼玉県昆虫誌	
内顎綱	—	—	4			埼玉県昆虫誌	
コムシ目	—	—	4				
トビムシ目	—	—	32				
カマアシムシ目	—	—	33			中村 (2011)	
六脚亜門 計		478 種	560 種	11,006 種	—	—	
六脚亜門以外の無脊椎動物	甲殻類	6	2	14	9	22%	
	小型甲殻類	—	—	61			平未発表リスト
	多足類	29	29	126 ※ 1			詳細は p.336
	クモ綱クモ目	21	21	416	415	5%	
	クモ綱ザトウムシ目	—	—	3			牧林 (2013)
	軟体動物	47	48	143	127	38%	
	環形動物 (ミミズ類)	—	—	33			南谷ほか(2012); 柳戸・柳戸(2016); 南谷(2016)
	扁形動物 (ウズムシ類)	3	3	12	10	33%	
六脚亜門以外の無脊椎動物 計		106 種	103 種	805 種	—	—	
総 計		787 種	842 種	12,375 種	—	—	

※ 1 カゲロウ目：1 亜種を含む。多足類：3 亜種を含む。

※ 2 備考欄に「埼玉県昆虫誌」とあるのは、C 列の埼玉県産動物種数の数値を埼玉県昆虫誌別巻（埼玉県昆虫談話会，1999）から引用したことを示す。また、カマアシムシ目とクモ綱ザトウムシ目、環形動物（ミミズ類）についても、表記の文献から種数を引用した。小型甲殻類については、平誠氏が作成したリストの種数を採用した。なお、カメムシ目と多足類については、それぞれの分類群の一部の種群について調査対象としていないため、D 列および B / D 列には数値を表記していない。